

# 1. NPO法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織

2009年、鳥羽商船同窓会 伊勢志摩支部の有志数名が、地域の子供たちに世界につながる船や海を知ってもらおうと任意団体「故郷の海を愛する会」を立ち上げました。4年後にはもっと活動の輪を広げようと「NPO法人 故郷の海を愛する会」を設立し、現在に至っています。

私たちの活動の対象は当初から主に小学5・6年生と中学生です。子供たちが学校で貿易や運輸（海運）を学び我々の活動に興味を持ち、この会の活動がそれに応えることができるようになれば目的が達成されることになります。

**目 的** 定款では以下のように定めています。

第3条 この法人は、主に県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もって**こどもたちの健全な育成**に寄与することを目的とする。

**事 業** 定款では以下のように定めています。

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、安全、安心を確保のうえ、次の事業を行う。

特定非営利活動に係る事業

- ① 故郷の海を愛する心を育てる事業
- ② 海や船に親しむ活動の推進事業
- ③ 世界に繋がる海で活躍し世界に雄飛する気持ちを醸成する事業
- ④ 郷土の誇る明治の教育家「近藤真琴翁」の偉業を多くの人に知ってもらう事業
- ⑤ その他第3条の目的を達成するために必要な事業

その他、定款を含む団体情報は、カンパンプログを参照ください。

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442>



**組 織** 役員名簿

役員名称	氏 名	常勤/非常勤	職 業	報酬の有無
理事（会長）	溝 井 昇	非常勤	無職	無
理事（副会長）	三 井 健 次	非常勤	無職	無
理事（副会長）	江 崎 隆 夫	非常勤	会社役員	無
理事（会計）	畑 辰 之	非常勤	水先人	無
理事	水 野 逸 夫	非常勤	無職	無
理事	永 井 功	非常勤	無職	無
理事	山 口 伸 輔	非常勤	会社社長	無
理事	木 下 勝	非常勤	無職	無
理事	濱 地 安 実	非常勤	無職	無
理事	西 山 明	非常勤	無職	無
監事	武 部 二三男	非常勤	無職	無

《会員数》2022年1月時点での正会員数は個人99名と3団体。賛助会員数は13名。

## 2. 事業名「海から始まる物語 IN 2022」

### 活動計画

#### 事業実施の方針

1. 今年度もコロナ禍での開催が予想されるので新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行い、安全安心を第一にイベントを実施する。
2. 参加者が小学生高学年・中学生なのでイベントの運営をスムーズに行うためボランティアの人数を十分に確保し、気象・海象に不安のあるときは延期する。
3. 夏季に開催するイベント①②では熱中症対策として水分補給に十分配慮する。
4. イベントを通じて一人でも多くの子供たちが海や船に興味を持ち、その道に進む憧れのきっかけになるよう計画する。
5. イベントに参加することで友達の輪が広がり楽しい思い出となるように計画する。

#### 第1回イベント JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海 コロナ拡大により中止

津市と鳥羽市で集合し、JMU津造船所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。

又、鳥羽商船高専の練習船に乗り、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。

船上では船の設備、構造、機関等の説明を受け、ロープワーク等を体験する。

募集人員：40名+ボランティア（活動に際しての協力：鳥羽商船高専並びにJMU津造船所）

場 所：津市及び鳥羽市と伊勢湾

時 期：8月3日

#### 第2回イベント 四日市港の見学 コロナ拡大により中止

津市と鳥羽市で集合し、バスで四日市市に移動。

四日市港では、うみテラス14の見学とユリカモメで港内見学をする。

募集人員：40名+ボランティア（活動に際しての協力：四日市港管理組合）

場 所：四日市市

時 期：8月25日

#### 第3回イベント 潮騒の神島にわたり、神島灯台・伊良湖水道の見学と神島の自然観察をする。

鳥羽市で集合し、市営連絡船で神島に向かい、鳥羽海上保安部の協力を得て神島灯台開放していただき灯台の機能について説明を受け灯台から伊良湖水道を通航する大型船を眺め、神島を歩いて一周し、渡りをする蝶アサギマダラを探す。

募集人員：40名+ボランティア（活動に際しての協力：鳥羽海上保安部、鳥羽市）

場 所：鳥羽市～神島

時 期：10月8日

#### 第4回イベント 遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、船の不思議についての実験や大型機関の発停を体験する。他にコンピューター・ロボットなどの講演を聞き、ロボットやアプリの体験をする。

募集人員：30名+ボランティア（活動に際しての協力：鳥羽商船高専）

場 所：鳥羽市 鳥羽商船高等専門学校校内

時 期：12月10日

**募 集** 募集対象は主に三重県の中南勢地区の小学5、6年生と中学生とする。

対象学校毎にポスターを、対象の子供達にリーフレットを配布する。

**参加費** イベント①②③については1,000円、その④は無料とする。

## 活動報告

## 参加者募集

今年度は中勢・南勢地区すべての小学校5・6年生、中学校1年生を募集対象としました。校数としては昨年と同数で変わりありませんが対象者は昨年より112人減少しています。各学校には募集ポスターの掲示を、対象の子供たちにはリーフレットの配布をお願いしました。少子化が進んでいるのでリーフレットの配布数は減少していくものと思われます。

イベント④については今年度のイベントに参加できなかった応募者の中から、抽選で参加者を決定しました。鳥羽商船高専への進学を視野に入れてもらえるよう、中学生の応募者を優先しました。

2022年	校数	小学校		中学校	合計	対前年増減
		5年	6年	1年		
鳥羽市	11	106	115	120	341	△6
伊勢市	32	1,069	1,041	1,020	3,130	116
松阪市	47	1,457	1,421	1,337	4,215	△24
志摩市	13	304	321	286	911	△46
南伊勢町	5	42	41	42	125	△16
玉城町	5	167	153	158	478	17
明和町	7	196	201	200	597	△2
多気町	7	104	131	172	407	△20
度会町	2	73	64	68	205	1
津市	71	2,246	2,313	2,227	6,786	△56
尾鷲市	7	125	103	107	335	△2
大台町	6	52	64	60	176	△10
大紀町	6	33	43	51	127	△14
紀北町	12	81	97	76	254	△15
紀宝町	7	76	91	69	236	△27
御浜町	7	63	63	66	192	0
熊野市	12	107	104	97	308	△8
合計	257	6,301	6,366	6,156	18,823	△112

## 参加者

参加者はイベント①②が中止となったのでイベント③：33名、イベント④：33名の合計66名でした。地域別・学年別・男女別に振り分けると下記の通りとなります。

学年別にみると小学生がやや多いがほぼ同程度です。男女間にもそれほど差がありませんでした。

イベント③④	津市	松阪市	伊勢市	志摩市	鳥羽市	玉城町	明和町	度会町	尾鷲市	熊野市	県外	
2022年	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
小学5	0 0	5 4	3 1	1 1	1 1	0 0	0 1	0 1	3 0	1 0	0 0	14 9
小学6	2 3	2 0	2 6	3 1	2 0	1 1	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0	13 12
中学	1 2	1 0	5 3	0 0	2 0	0 1	0 0	0 0	0 2	0 0	0 2	9 10
合計(男女別)	3 5	8 4	10 10	4 2	5 1	1 2	1 2	0 1	3 2	1 0	0 2	36 31
合計	8	12	20	6	6	3	3	1	5	1	2	67

\* イベント開催日にキャンセル 1名 (合計66名)



## 海から始まる物語IN2022

イベント③

2022年10月08日(土)開催

### 「潮騒の神島に渡り、伊良湖水道の見学と神島の自然観察をする」

小中学生33名、スタッフ15名、ゲストに鳥羽商船高専の校長をお迎えして、新型コロナウイルス感染予防に努めながら開催しました。

神島は三重県鳥羽市に属し、鳥羽港の北東約14kmにある周囲4kmの小さな島で、その名が示すように神の支配する島と信じられてきました。

当日は鳥羽海上保安部の保安官も3名同行し、参加者は神島灯台や監的哨跡など島内各所の解説を聞くことができました。

#### 8:40 受付開始

検温や消毒、体調チェックシートの提出など、健康観察を行った後で受付手続きです。

スタッフやゲストはもちろん、参加者や送迎の保護者も快く協力してくれました。

受付でドリンクを受取って班別に集合。会長挨拶や注意事項を聞いた後チャーター船に乗り込みます。



#### 9:20 乗船開始・出港

臨時便「きらめき」で神島へ。お天気には恵まれたものの風は強く、高速船はよく揺れました。

鳥羽海上保安部の船が並走してくれたタイミングも波が高く「デッキに出るのは、揺れが収まってスタッフのOKが出てから」という指示のもと客席の窓から手を振りました。



#### 10:00 神島到着

人数を確認し、坂と階段の多い神島を班別に散策します。







神島灯台



アサギマダラ

かつて島民が時刻を知る唯一の手段であった時計台、海底送水管が完成するまで利用されていた洗濯場、海の難所といわれる伊良湖水道とその安全を見守ってきた神島灯台、三島由紀夫の小説『潮騒』で新治と初江の逢瀬の場となった監的哨跡など、見どころいっぱいの神島を保安官やスタッフの解説を聞きながら一周しました。

事前アンケートで子供たちの期待を集めていたのは、旅する蝶「アサギマダラ」を探すこと。2千kmにも及ぶ渡りの途中で毎年神島に立ち寄ります。この日見付けたのは3頭だけですが今秋もちゃんと訪れてくれました。



監的哨跡





八代神社、ニワの浜、古里(ゴリ)の浜、カルスト地形など長い年月によって培われた歴史的にも地質的にも貴重な神島の名所を巡ります。2週間前的大雨による通行止めで鏡岩には近付くことができませんでした。



途中、神島小学校に立ち寄って神島名物「たこめし」のお弁当をいただきます。お魚いっぱい。

初対面の参加者同士も徐々に距離が縮まり、一行はだんだん賑やかになりました。帰りの船を待つ頃にはすっかり打ち解けて親しむ様子が見られました。







14:30 人数確認・乗船  
臨時便「しおさい」で神島を  
あとにします。  
30分で無事に鳥羽マリンター  
ミナル帰着。



15:20 おわりの挨拶・解散  
共催団体や海上保安部からの  
お土産を手にとり解散。

「船が揺れた～」 「弁当めっ  
ちやうまかった!」 「すごく  
歩いた」 お迎えの保護者に報  
告する元気な声を、安堵と共  
に見送りました。



イベント①②が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった今年度、イベント③の開催は慎重に状況を見極めて判断されました。

参加者やスタッフに対しては感染予防対策の周知徹底を図り、当日まで感染状況の悪化がみられなかったことから催行に至りました。

学校行事の延期や濃厚接触等の事情から数件のキャンセルがあり、平常時の半数とした定員より更に少ない33人での開催となりましたが、直前まで心配された天候は格好のハイキング日和。無事に終了できたことを喜んでいきます。

参加してくれた小中学生の心に、何かを残す秋の一日となっていれば幸いに思います。

ご支援、ご協力くださいました施設、団体、企業の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 行程表

08:10	スタッフ集合 鳥羽マリンターミナル
08:40	受付開始
09:10	集合時刻 班別に集合5班 主催者挨拶・注意事項
09:20	乗船開始 チャーター便に乗船 神島へ
10:00	神島到着 下船
10:10	人数確認後、班毎に出発 時計台・洗濯場を見学、遊歩道の周りで途中アサギマダラを探す
11:00	神島灯台・伊良湖水道見学 鳥羽海上保安部の保安官より灯台、伊良湖水道の説明を聞く
12:00	説明を終えたら、順次島内巡りへ 監的哨跡、カルスト地形、ニワの浜等を見て進み途中アサギマダラを探す
12:30	小学校校庭で昼食（昼食は出前） 小学校のトイレ借用する
13:20	島内巡りに再出発
14:10	港に帰着 アンケートに記入
14:30	人数確認 乗船
14:40	チャーター便 出港
15:15	鳥羽マリンターミナル着
15:20	おわりの挨拶、解散

## 海から始まる物語IN2022

イベント④

2022年12月10日(土)開催

### 「遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話」at鳥羽商船高等専門学校

小中学生33名、スタッフ13名、ゲストに校長とOBをお迎えして、新型コロナウイルス感染予防に努めながら鳥羽商船高等専門学校の特色や魅力を体感できるイベントを開催しました。

鳥羽商船高等専門学校は全国に5校しかない商船高専のうちでも最も古い歴史を持ち、国際的に通用する高度な実践的技術者の育成を行っています。

この日は教官や学生をはじめ30名以上の学校関係者が、小中学生に伝わるよう工夫をこらした講座や講演をしてくださいました。



#### 9:00 受付開始

受付手続き前に検温や消毒、体調チェックシート提出。今回も皆さんは快く協力してくれました。

ドリンクを受取ってマルチメディア教室に集合。  
会長と校長先生の挨拶や注意事項をしっかりと聞きます。



9:50～『校祖 近藤真琴物語』  
鳥羽商船高専卒業生、塩野明俊氏による講演。  
事前アンケートでの期待も高く積極的に手が挙がります。







10:45～『身近な海岸の可燃ゴミを利用したスマホ充電器の作成と海岸での雷の話』  
鳥羽商船高専 古森郁尊教授による講演。  
メモを取りながらお話を聴いたり、ベルチェ素子の冷感に驚いたり、あっという間の45分間でした。

11:45～昼食・ビンゴゲーム大会  
蜜柑とクレープ付きのお弁当をいただいたらビンゴゲーム大会が始まります。全員にプレゼント、早くクリアした人には先着で図書カードも贈られます。真剣にカードをみつめ、プレゼントを選びました。その後は近藤真琴翁碑の前で集合写真を撮影しました。





## 体験チャレンジコーナー

①13:15～13:50 ②13:50～14:30 ③14:30～15:05 ④15:05～15:45

4班に別れ、学内の教室や実習室を巡ります

それぞれの学科の教官や学生さんが特色を生かした興味深い講座を準備してくれています



載貨実験室  
商船科  
航海コース  
Tomoki Yamada  
D.Eng.



船のはたらき  
揺れても平気？船のからくり



内燃機関実験室  
商船科  
機関コース  
Masataka Hirose  
D.Eng.



ディーゼルエンジンを動かそう



ロボコンの見学と体験



ものづくり工房  
電子機械  
工学科  
Ken Wakisaka  
D.Eng.



磁石の不思議な世界を体験しよう

演習室3  
制御情報  
工学科  
Nobumasa Nishiyama  
D.Eng.





中学生が卒業後の進路を決めるとき、将来どんな職業を目指しても対応できるように一般教科中心の学科を考えることが多いと思います。

「高専に進学して5年間の専門教育を受ける」それを決意するには15歳は若く、途中で興味が無くなったり他へ移ったりするのではないが、余程の目的や興味がある人だけが進む道なのでは、そもそもどのような学科があり何を学ぶのかもよくわからない、そんな声が聞こえてきそうです。



近藤真琴翁記念碑前にて  
2022.12.10

一般的なイメージの高校生とはちょっと違うお兄さんお姉さんが「面白いけど難しい。けど面白い」と思いながらそれぞれが知りたいことを学んでいる。それを十二分にバックアップしてくれる専門性の高い先生がいて、設備も驚くほど整っている。そのような雰囲気を感じ取ってもらえたでしょうか。

鳥羽商船高専の特色や魅力をお伝えしきれてはいませんが、イベント④では参加者の皆さんがビックリしたり笑ったり感心したりと、目を輝かせる瞬間をたくさん見ることができました。

面白いことをやってる学校だなと驚いてもらえたように感じます。

別ページにイベント毎のアンケートを集計いたしましたので、参加者の声をぜひご覧ください。

入念な準備をしていただきました先生方や、小中学生に親切な対応をしてくださった学生の皆様、ありがとうございました。

ご支援、ご協力くださった団体、企業、個人すべての皆様に厚く御礼申し上げます。

## 行程表

08:40	スタッフ集合 鳥羽商船高専 百周年記念館
09:00	受付開始 百周年記念館前 参加者を受付後グループで4号館3階マルチメディア教室に案内
09:30	マルチメディア教室集合（班別に集合4班）
09:30～09:40	主催者挨拶・校長先生挨拶・注意事項
09:50～10:35	講演 塩野明俊氏 『校祖 近藤真琴物語』
10:45～11:30	講演 鳥羽商船高専 古森郁尊教授 『身近な海岸の可燃ゴミを利用したスマホ充電器の作成と海岸での雷の話』
11:45	昼食・ビンゴゲーム大会 マルチメディア教室
13:00	記念撮影 近藤真琴記念碑前にて
13:10	チャレンジ体験コーナー（各30分＋移動5～10分） 参加者は4班に分かれて活動 体験① 13:15～13:45～13:50 体験② 13:50～14:20～14:30 体験③ 14:30～15:00～15:05 体験④ 15:05～15:35～15:45
15:55	マルチメディア教室集合 アンケート記入
16:10	おわりの挨拶 解散

参加者アンケート集計

イベント③ 潮騒の神島に渡り、伊良湖水道の見学と神島の自然観察をする

2022年10月08日(土) 開催 参加者 33名 回答者 33名

- Q1 どちらからのご参加ですか？ A 省略
- Q2 学年と性別は？ A 省略
- Q3 イベントを何で知りましたか？ (複数回答) A ●学校 30名 ●ブログ 2名 ●知人 1名  
●その他 1名 (親)
- Q4 どなたが参加を決めましたか？ (複数回答) A ●自分 32名 ●親 7名 ●友人 1名
- Q5 故郷の海を愛する会を知っていましたか？ A ●はい 2名 ●いいえ 30名 ●無回答 1名
- Q6 何を一番楽しみにして参加しますか？ (複数回答・ランキング) A ①アサギマダラ ②乗船 ③神島探検  
＜その他＞  
●神島灯台 ●海 ●みんなと遊ぶ ●海上保安部の説明  
●自然観察 ●イルカを見付けたい ●全部  
●友達をつくる ●お弁当
- Q7 集合場所までどなたと来ましたか？ (複数回答) A ●保護者 28名 ●友人 3名 ●1人 2名  
●無回答 1名
- Q8 今日の活動で何が楽しかったですか？ (複数回答・ランキング) A ①アサギマダラを見つけた ②全部 ③お弁当  
＜その他＞  
●たくさんある ●乗船 ●神島探検 ●友達  
●神社 ●神島灯台 ●ススキでホウキを作った  
●自然の道を歩く
- Q9 何かびっくりした事がありましたか？ A ●アサギマダラがなかなか見付からない ●アサギマダラが見付かった  
●お弁当が美味しかった ●お弁当が大きかった ●神島灯台の光は42km先まで届く  
●灯台の歴史 ●船が水に浮いた ●少し船酔いした  
●船の揺れが怖かった ●友達がいっぱいできた  
●蜘蛛が多い ●蜘蛛が大きい ●蜘蛛の巣だらけだった  
●ムカデがいた ●神島にはお土産屋さんがない  
●全部 ●ありました
- Q10 今後このような活動があったら参加したいですか？ A ●はい 32名 ●いいえ 0名 ●無回答 1名
- Q11 新しい友達が出来ましたか？ A ●はい 28名 ●いいえ 4名 ●無回答 1名
- Q12 他校の人やボランティアの人と会話をしましたか？ A ●はい 30名 ●いいえ 2名 ●無回答 1名
- Q13 会話をした人は、どんな話をしましたか？ A ●アサギマダラ ●学校 ●将来 ●ゲーム ●住んでいる所  
●故郷の海を愛する会のこと ●カタツムリ ●船 ●生き物 ●今日の活動について ●蜘蛛  
●足の速さ ●好きな教科 ●悩み ●友達のこと  
●故郷の海を愛する会のこと ●色々
- Q14 今日の活動についての印象は？ A ●色んなことを学べる ●自然を感じた ●友達ができる  
●自然を体験し分かり合うこと ●楽しかった  
●わくわく ●友達と話した ●蜘蛛多すぎ ●嬉しかった  
●色々



## 参加者アンケート集計

イベント④ 遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話  
2022年12月10日(土) 開催 参加者 33名 回答者 33名

- Q1** どちらからご参加ですか？ **A** 省略
- Q2** 学年と性別は？ **A** 省略
- Q3** どなたが参加を決めましたか？（複数回答） **A** ●自分 30名 ●親 9名 ●友人 4名
- Q4** 故郷の海を愛する会を知っていましたか？ **A** ●はい 18名 ●いいえ 15名
- Q5** 何を一番楽しみにして参加しますか？（複数回答・ランキング） **A** ①ビンゴ大会 ②体験チャレンジ ③『近藤真琴物語』  
＜その他＞●船の仕組みなどが楽しみ ●鳥羽商船高等専門学校を知ること ●友達に会う ●レクリエーション ●色々なことを知ること ●見学 ●講演
- Q6** 集合場所までどなたと来ましたか？（複数回答） **A** ●保護者 21名 ●友人 16名 ●兄弟姉妹 3名
- Q7** 今日の活動で何が楽しかったですか？（複数回答・ランキング） **A** ①ビンゴ大会 ②体験チャレンジ ③船のエンジン体験  
＜その他＞●ネオジム磁石について ●ロボコン部が好き！  
●船について詳しく知れた ●コンピュータ ●鳥羽商船の歴史 ●講演 ●知らない友達と話した ●昼食 ●全部
- Q8** 何かびっくりした事がありましたか？ **A** ＜船のエンジン＞●音がでかすぎた ●動かす／停めるのに30分～1時間かかる ●実際の船のエンジンはもっと大きい  
＜ロボコン＞●動画を見せてもらった ●作るのに半年以上かかる  
＜船のしくみ＞●こけない理由 ●揺れることにとても大変な仕組みがあった ●おもりを置く位置によっては船が倒れた  
＜その他＞●ネオジム磁石が硬すぎた ●近藤真琴さんが鳥羽商船をつくったお話 ●ペルチェ素子というものの存在、使い方 ●海の上では雷から逃げられない ●いろいろなことを学べる ●全部
- Q9** 今後このような活動があったら参加したいですか？ **A** ●はい 31名 ●いいえ 2名  
＜いいえの理由＞●高校がある程度決まったから ●中学で色々なこと（部活など）があっただけでいいかも
- Q10** 新しい友達が出来ましたか？ **A** ●はい 18名 ●いいえ 15名
- Q11** 他校の人やボランティアの人と会話をしましたか？ **A** ●はい 26名 ●いいえ 6名 ●無回答 1名
- Q12** 会話をした人は、どんな話をしましたか？ **A** ●磁石 ●船 ●昼食 ●感想 ●体験や実験について ●ロボコン ●これおもしろいとか ●ビンゴ大会 ●学校の話 ●楽しいねなど ●自己紹介 ●これはどういうことだろう？ などわからないところを話し合った ●前に会った気がする ●神島イベント ●ゲーム ●いろいろな実験や機械の話
- Q13** 今日の活動についての印象は？ **A** ●話だけじゃなくて、体験しながら活動できてよかった ●高校本気でここにしようかな ●この高校がとても楽しそう ●ボランティアの方々や先生方、生徒の皆さんなどがとても丁寧に説明してくれた ●いろいろなことがこの学校でできると思った ●鳥羽商船に入りたいと思いました ●船の操作などをしていて方たちがこんなに難しい操作をしているのがすごいと思った ●自分達に合わせて会話をしてくれた ●楽しかったしわかりやすかった ●海を愛していることがよくわかった ●ものすごく楽しい活動 ●鳥羽商船さんが行っている内容についてよく知れた

## 募集のポスターなど

イベント①②③は例年同様、一枚の募集ポスターを用意して三重県中南勢地区の小中学校に掲示していただきました。募集用リーフレットは各教委・学校を通して小学5・6年生、中学1年生に配布をお願いしました。



ポスター A2サイズ 各学校に1枚とした。

QRコードから簡単に専用フォームにアクセスして応募できるようにし、Eメール、ファックス、電話での受付は廃止しました。

例年と同様にリーフレットの裏面に募集時の注意事項を記載しました。

対象人数に応じて学校別、学年・クラス別にパックしたものを管轄の教育委員会にまとめてお預けし、各学校へ届けていただきました。



リーフレット A4サイズ (表)



(裏)

イベント④については、①②③の応募者に案内メールを送付し、専用フォームにて応募を受付けました。中学生は全員招待、小学生はグループ単位での抽選によって参加者を決め開催しました。

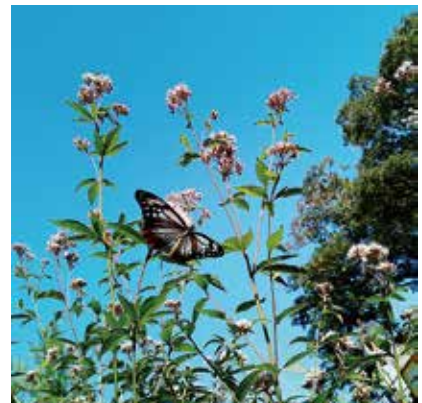


### 3. その他の活動

故郷の海を愛する会のメンバーが積極的に取り組んでいる活動をご紹介します。

#### アサギマダラを呼ぶプロジェクト

プロジェクトの活動も4年目に入りすそ野が広がっています。今年度は鳥羽市内の金刀比羅宮の一角にフジバカマを移植しました。今年はあまり期待してなかったのですが10月の中旬に数頭のアサギマダラが飛来して参拝者の目を引き付けました。これからも鳥羽を訪れる観光客を楽しませる場所を紹介していただきフジバカマの移植を進めていきたいと思っています。



#### セイラビリティ伊勢の活動を支援

セイラビリティ伊勢が毎年開催している「伊勢市夏休みこども体験ツアー」6回と「みなと小学校体験実習」2回の活動に当会員がハンザクラス型ヨットによるセーリングのスタッフとして参加しました。伊勢市の体験ツアーは天候の影響で2回が実施できなく残念でしたが参加した子供たちはセーリングを満喫できました。この活動は我々の活動目的と一致するところがあり積極的に協力しています。



#### 学校練習船体験航海の募集に協力

学校が小中学生を対象に開いた鳥羽丸体験航海の募集に協力しました。故郷の海を愛する会のイベント①が残念ながら中止となり体験乗船が出来なかったのが、こちらへ応募して体験乗船してくれた小学生も多かったようです。



## とある男<sup>YOUTUBER</sup>葉<sup>は</sup>一<sup>いち</sup>さん来校

YouTubeチャンネル「とある男が授業をしてみた」で有名な葉一さんが、鳥羽商船高専を取材に訪れました。

宿題をしていて「授業で習ったけどよくわからない」という時に「因数分解」「二次方程式」などと検索すると真っ先に出てきて丁寧に教えてくれるあの人は。

YouTubeや公式サイト「19ch」で、小3から高3までの授業動画や受験対策、テキスト等を無料公開されています。多くの学生が「お世話になっていました」「小学生の時から見てます」と口々に伝えて葉一さんを取り囲んでいました。

日本海事広報協会様から「とある男が商船高専を紹介する」という企画をお聞きし、鳥羽商船高専をご紹介した縁で、会長とスタッフも取材に密着させていただきました。当日の様子は2023年1月29日のブログでレポートしています。

海に囲まれた日本にとって海事産業や船員の育成がいかに重要なことであるか、鳥羽商船高専が何を目指してどのような教育をしている学校なのか、学生たちは何を思っているのか、いかなる未来を思い描いているのか。人気YouTuber葉一さんを通して多くの方々に伝わる素敵な企画でした。



とある男が授業をしてみた





4. 収支報告

収入については自己負担金として会費 ¥8.0万、事業収入 ¥2.9万、寄付金 ¥53.7万、助成金として日本中小型造船工業会、全日本海員組合、山縣記念財団、鳥羽商船同窓会から合計 ¥86.8万となり総合計 ¥151.4万となりました。

支出についてはイベントの減少で予算との比較はできませんが、事業費については予算通りとなっています。保険料については日本中小型造船工業会、日本船主団体にお願ひしましたのではありません。管理費について事務所の部品を購入したので増加しています。

2022年度 貸借対照表

(2023年3月31日現在)  
特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会

科 目	金 額 (単位:円)
I 資産の部	
現金預金	357,024
未収金	
流動資産合計	357,024
2.固定資産	
(1)有形固定資産	
什器備品	0
有形固定資産計	0
(2)無形固定資産	
ソフトウェア	0
無形固定資産計	0
(3)その他の資産	
その他の資産合計	0
固定資産合計	0
資産合計	357,024
II 負債の部	
1.流動負債	
未払金	0
前受会費	44,000
前受寄付金	0
流動負債合計	44,000
2.固定負債	
	0
固定負債合計	0
負債合計	44,000
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	449,165
当期正味財産増減額	-136,141
正味財産合計	313,024
負債及び正味財産合計	357,024

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)  
特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会

科 目	金 額 (単位:円)
I 経常収益	
1 受取会費	
正会員受取会費(個人)	78,000
正会員受取会費(団体)	2,000
	80,000
2 事業収益	
第1回事業収益	0
第2回事業収益	0
第3回事業収益	29,500
第4回事業収益	0
第5回事業収益	0
	29,500
3 受取寄付金	
受取寄付金(個人)	467,000
受取寄付金(法人・団体)	70,000
	537,000
4 受取助成金等	
受取民間助成金(日本中小型造船工業会)	148,000
受取民間助成金(日本船主協会)	0
受取民間助成金(日本海事センター)	0
受取民間助成金(全日本海員組合)	450,000
受取民間奨励金(山縣記念財団)	100,000
受取民間助成金(日本海事広報協会)	0
受取民間助成金(鳥羽商船同窓会)	170,000
受取民間助成金(鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部)	0
	868,000
5 その他収益	
受取利息	4
雑収益	0
	4
経常収益合計	1,514,504
II 経常費用	
1 事業費	
(1)人件費	0
人件費計	0
(2)その他の経費	
イベント事業費	193,896
業務委託費	250,000
諸謝金(講師・看護師・学生)	93,000
募集経費	251,000
印刷製本	167,200
旅費交通費	184,380
保険料	0
雑費	5,498
事業費計	1,144,974
2 管理費	
(1)人件費	0
人件費計	0
(2)その他の経費	
租税公課	0
交際費	34,977
旅費交通費	60,000
通信費・運搬費	140,255
消耗品	142,184
支払手数料	8,775
雑費	119,480
その他経費合計	505,671
経常費用合計	1,650,645
当期正味財産増減額	-136,141
前期繰越正味財産額	449,165
次期繰越正味財産額	313,024

今年度も沢山の会員からご寄付を頂きました。いただいた方は以下の通りです。ありがとうございます。

名 前	金 額	名 前	金 額	名 前	金 額	名 前	金 額	名 前	金 額
川口 智史	100,000	小林 司	10,000	増島 忠弘	9,000	大西 彰夫	4,000	鬼頭 俊輔	1,000
菅沼 延之	50,000	西山 剛広	10,000	畑 辰幸	9,000	中村 雅則	4,000	永井 功	1,000
畑内 康孝	30,000	中村 映	10,000	鈴木 晴敏	9,000	藤田 稲彦	4,000	家田 和良	1,000
久居地区明 るい社会づ くりの会	30,000	長谷川雅昭	10,000	三井 建次	9,000	木下 勝	4,000	丸島 慶久	1,000
		柘植 泰輔	10,000	山田 猛敏	6,000	江尻 潜	3,000	強力 修	1,000
		飯島 寿	10,000	加藤 信一	5,000	西濱 卓巳	3,000	松浦 肇	1,000
小甲 和巳	21,000	濱地 安実	10,000	溝井 昇	5,000	中西 哲也	3,000	中内 美友	1,000
山下 文徳	20,000	江崎 隆夫	9,000	石原 賢一	5,000	井上 民規	2,000	北端 大志	1,000
塩野 明俊	10,000	三村 徳藏	9,000	丹羽 幸彦	5,000	奥村 要治	2,000		
金田 護	10,000	小木曾順務	9,000	宮脇 幸次	4,000	竹内 大助	2,000		
山口 淳	10,000	西山 明	9,000	佐藤 隆史	4,000	鬼頭 和江	1,000		

(敬称略)

## 5. 2023年度の活動計画

2023年度は「海から始まる物語 IN 2023」と題し4回の活動を計画しています。ここ2～3年コロナ禍の影響を受けイベントの活動も中止を余儀なくされました。今年度はコロナ禍による行動制限が緩和される方向で検討されているので、すべてのイベントが計画通りに実施できるのではないかと考えています。

### イベント① JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

津市と鳥羽市で集合し、JMU津造船所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。鳥羽商船高専の練習船に乗船し、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。船上では船の設備、構造、機関等の解説を受け、ロープワーク等を体験する。

募集人員：40名+ボランティア【活動に際しての協力：鳥羽商船高専並びにJMU津造船所】

場 所：津市・鳥羽市・伊勢湾

時 期：(仮) 2023年7月26日(水)

### イベント② 海の博物館見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

津市と鳥羽市で集合し、鳥羽市の海の博物館で見学と体験をする。鳥羽商船高専の練習船に乗船し、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。船上では船の設備、構造、機関等の解説を受け、ロープワーク等を体験する。

募集人員：40名+ボランティア【活動に際しての協力：鳥羽商船高専並びに鳥羽市海の博物館】

場 所：鳥羽市・伊勢湾

時 期：2023年8月2日(水)

### イベント③ 太平洋フェリー見学と名古屋港見学

鳥羽市と津市で集合し、太平洋フェリー船内見学と名古屋港の南極観測船ふじの船内見学、ポートビル施設で名古屋港の全体を体験する。

募集人員：40名+ボランティア【活動に際しての協力：太平洋フェリー、名古屋港ポートビル、南極観測船】

場 所：名古屋港

時 期：10月上旬

### イベント④ 遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、模擬操船や大型エンジンの発停を体験する。他にコンピューターやロボットについて講座を受講・体験する。

募集人員：40名+ボランティア【活動に際しての協力：鳥羽商船高専】

場 所：鳥羽市 鳥羽商船高等専門学校校内

時 期：12月上旬

年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・近隣市町教育委員会（鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・津市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町・大台町・大紀町・尾鷲市・紀北町・熊野市・御浜町・紀宝町）等の後援を得て参加者募集を行います。

国立鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」や学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会等の後援・協力を得て事業を実施していく予定です。

助成に関しては、鳥羽商船同窓会に加え、日本中小型造船工業会、日本船主協会、全日本海員組合、山縣記念財団、日本海事広報協会等からの助成を期待しています。

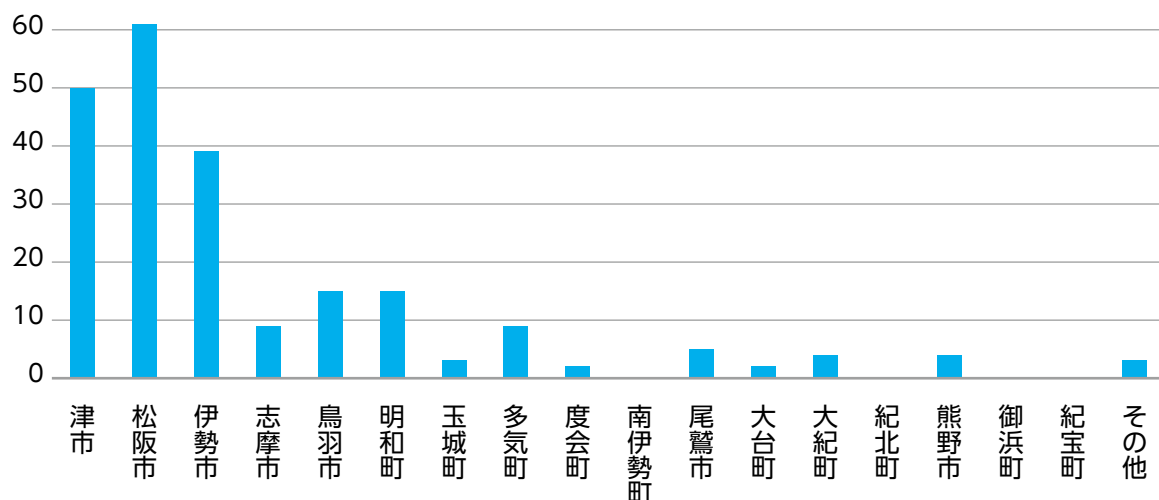


## 6. 主催者の感想とその他

今年度もコロナ禍の中での開催となり、計画していたイベント①②を中止いたしました。イベント③は鳥羽市の神島にチャーター船で渡り伊良湖水道を航行する大型船の見学や島内の自然観察を目的としていました。加えて鳥羽海上保安部のご協力で神島灯台の施設内も見学させていただけたことに感謝しています。イベント④で鳥羽商船高専の施設を利用して行う体験実習は子供達に感動を与えているので、引続き学校との連携のもと充実した講座を計画したいと思います。

### 応募者数と地域別内訳

今年度のイベント①②③の応募者数／地域別の内訳を下記の通り示します。



今年度は221名の応募があり、地域別では津市、松阪市、伊勢市が全体の70%を占めています。その他の市町村は15人以下で広くから募集がありました。複数応募の内訳は、イベント①43%②24%③32%となっており造船所見学と練習船体験航海が人気です。今後のイベントの計画に参考とします。

### 参加者募集と応募について

募集に関しては例年通り中南勢地区の小学校、中学校にポスターの掲示をお願いし小学5・6年生、中学1年生にリーフレットを配布しました。小学生と中学生の応募割合を比較してみると83%:17%と中学生の応募が少なくリーフレットの配布方法を考慮する必要があります。中学生に鳥羽商船高専の魅力を知ってもらう目的で学校の施設を利用したイベントを開催しているので少し残念です。

応募方法はフォームやQRコードを活用することでメール・FAXよりもトラブルが減少、応募情報の集計もスムーズになり運営の負担が軽くなりました。イベント参加者の抽選もアプリに任せたので公平かつ迅速化されました。

次年度以降もこの方法で行い募集や抽選をスムーズに進めたいと考えています。

## 昼食に関して

イベント③は昨年と同じく神島だったので昼食は名物の「たこめし」でした。主催者としては食物アレルギーを除いては好き嫌いなく準備した昼食を食べていただきたいところですが、事前に献立をお知らせし食べられるかどうかチェックしました。小食や好みの問題で昼食持参の参加者も見受けられました。無駄を省いて美味しく頂ける昼食にするにはこのような対応も必要となってきます。

## 新型コロナ対策

昨年と同様に参加人数を半数に抑え開催したので三密は避けることができました。野外での活動ではマスクの着用を強制することなく個人の判断に任せました。次年度は2類感染症から5類感染症に変更されるのでコロナ対策もその基準に合わせイベントを開催したいと考えます。

## 編集後記

会長職を引き継ぎ一年目のイベント開催となりましたが、今年度も新型コロナウイルスの流行に影響されイベント①②は中止となりました。③④は感染対策を十分施し開催することができました。

コロナ禍での開催も3年目となっています。すべてのイベント開催は実現せず困惑していますが、新しい理事になって組織も二年目となる次年度はボランティアスタッフと協力して子供たちに喜んでもらえるイベントに育てていきたいと思っています。

2022年度の資金、資料提供等本活動に関し以下の団体、自治体、会社にご多大なご協力を頂きました。  
成功裏の活動終了は皆様のおかげです。ありがとうございました。

- 国土交通省中部運輸局 三重県運輸支局鳥羽海事事務所
- 三重県教育委員会
- 津市、松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、多気町、明和町、度会町、玉城町、南伊勢町、大台町、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町の各教育委員会、各小中学校
- 日本船主協会 ●全日本海員組合 ●山縣記念財団 ●日本中小型造船工業会
- 日本海事広報協会 ●日本内航海運組合総連合会 ●JMU津造船所
- 鳥羽商工会議所 ●鳥羽市観光協会 ●南勢海洋少年団 ●セイラビリティ伊勢
- 鳥羽商船同窓会 ●鳥羽商船高等専門学校 ●鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部

